

Digital × Town



コンパクトスマートシティ社会実装セミナー 地域見守りのご紹介

2022年6月10日

NECネットエスアイ株式会社

営業統括本部

ビジネスプロセスイノベーション推進本部

大阪府豊能町 総合まちづくり計画より



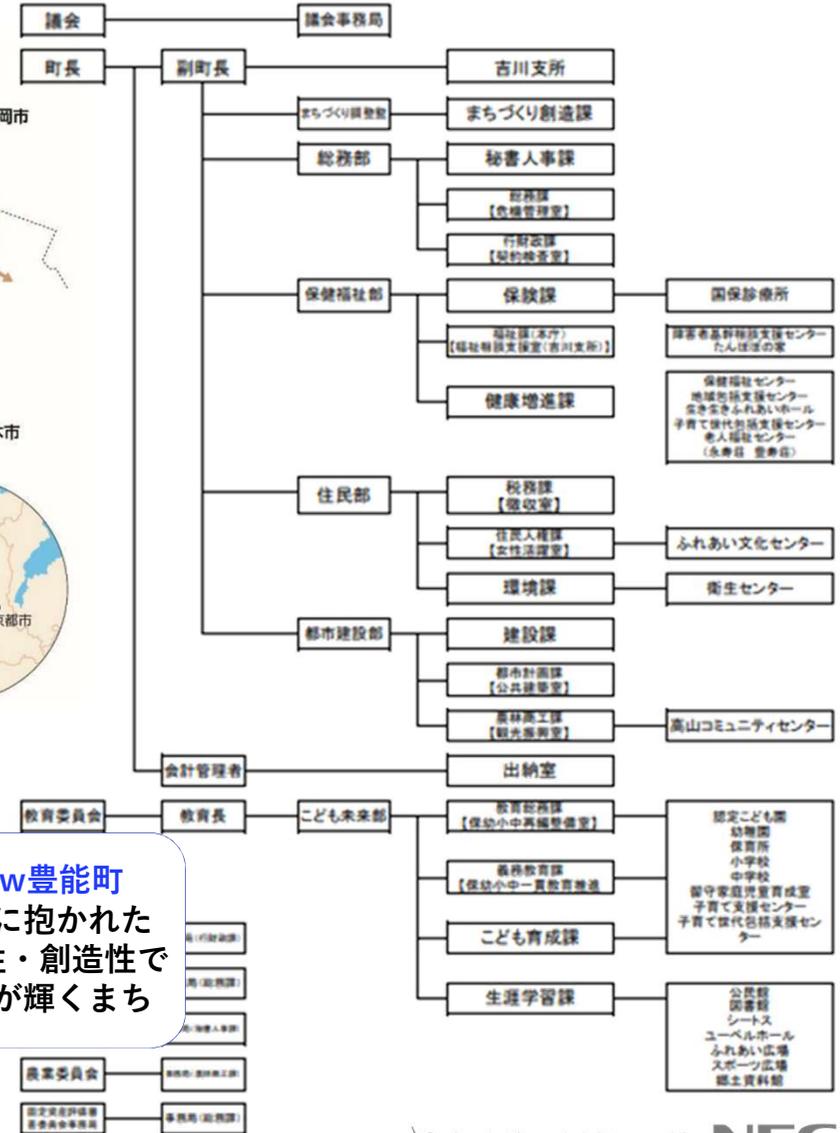
総人口数 18,796人
世帯数 8,685世帯
 令和4年1月末日現在

総合まちづくり計画<期間：令和4年~令和13年>
 2031年（令和13年）目標人口 15,000人維持

- ・生産年齢人口の定住促進
- ・子育て世代の転入促進
- ・健康寿命の延伸



豊能町組織機構図(令和3年4月1日現在)



豊能町が取り組むべきこと	
1. まちの未来につながる教育の推進	2. いつまでも健康で、みんなが活躍するまち
3. 安心して子どもが産める環境づくり	4. まちを好きと思ってもらえる移住・定住促進
5. まちで働く人を応援	6. 人や仕事を呼び込むテレワークの推進
7. 地域経済を循環させる	8. 地域産業を元気にする6次産業化
9. 住民のQoL向上をめざしたコンパクトなまちづくり	10. 人が活躍できる地域コミュニティづくり
11. 低炭素社会の実現による持続可能なまちづくり	12. 交流人口の増加で新たな風土づくり

町役場

東部地域【農村】

- ・自然が多く農林業
- ・農村的コミュニティ

吉川支所

西部地域【ニュータウン】

- ・緑のあるスマートシティ
- ・都市的コミュニティ

New豊能町
 自然に抱かれた
 多様性・創造性で
 未来が輝くまち

ご提案[見守りサービス]

①住民参加型の見守りサービス

②日常のインフラ活用と非常時の情報活用の両立

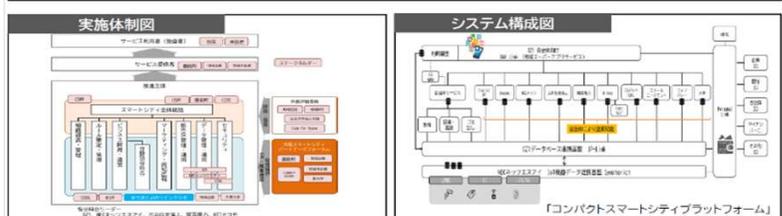
豊能町スマートシティプロジェクト（取組領域のご紹介）

コンパクトスマートシティプラットフォームの社会実装

実施地域 大阪府豊能郡豊能町(光風台周辺地区等) **実施主体** (一社)コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

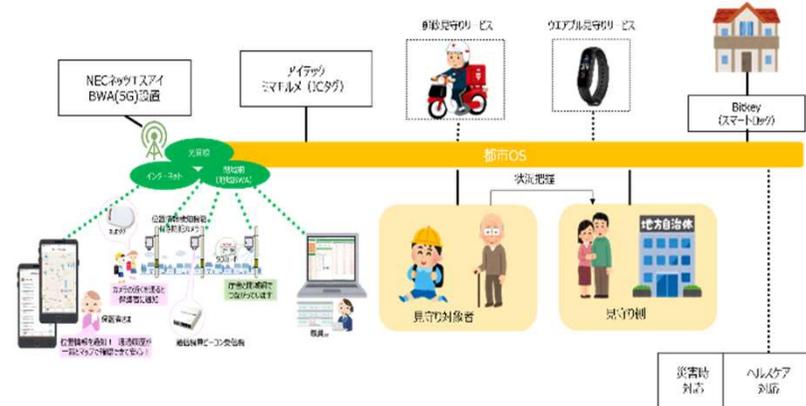
事業概要 地方都市における急速な人口減少に伴う地方自治体スマートシティサービスで持続可能なまちづくり。また地方自治体において、どのようにスマートシティを作っていくのか、IT人材の不足、予算の不足など、スマートシティサービスを導入するに多くの課題があります。本事業は、「コンパクトスマートシティプラットフォーム（略称：CSPF）」として、同じ課題をもつ自治体が関わり合い合いに現在30社60サービス以上からスマートシティサービスを導入できる環境の構築を目指します。

取組内容 CSPFは、スマートシティを始める上で必要な、データ連携基盤、ID管理(個人情報管理)、住民向けインターフェースを開発しており、企業が提供する高齢者/子育て支援、ヘルスケア、働き方(テレワーク、女性活躍)、環境、農業、Mobility、エネルギー、防災・防災、電子決済、通信環境など多くのサービスメニューがあり、自治体は欲しいサービスを選び無償または低価格でスマートシティのパッケージが用意できる仕組みを構築していきます。(変更・拡張も容易にします)今回は有償・無償を問わず基本となるサービスを各企業と検証および実装し、これから使われる自治体でも安心して使えるようにパッケージ化を進めます。



高齢者・子供見守りサービスの提供

本日も紹介



地域BWA（5G）やBLEビーコンを活用しながら見守り対象者をシームレスに見守り、ヘルスケア利用や災害時の避難への活用

【当社の目指す姿】

- ・ローコストのスマートシティの実現
- ・データ連携による新しい住民サービスの提供
- ・地域共創パートナーとの連携

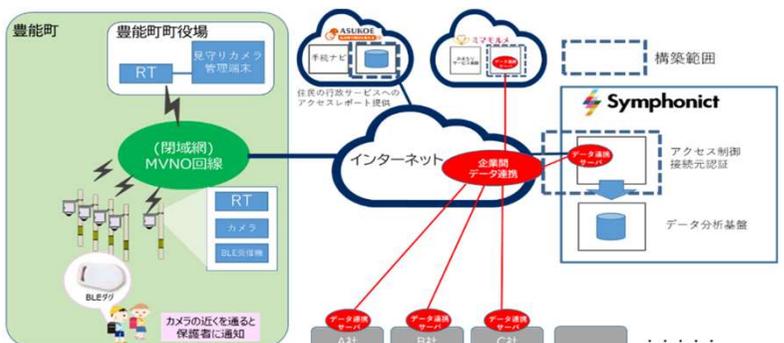
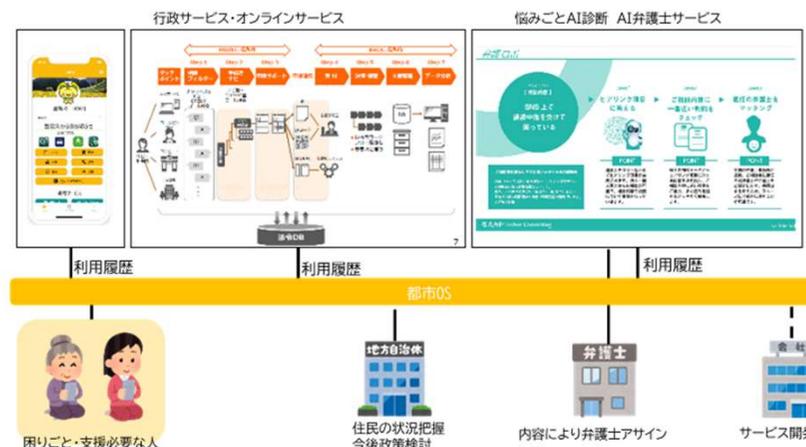


図1：見守りサービス構成概要

行政デジタルサービスの環境整備



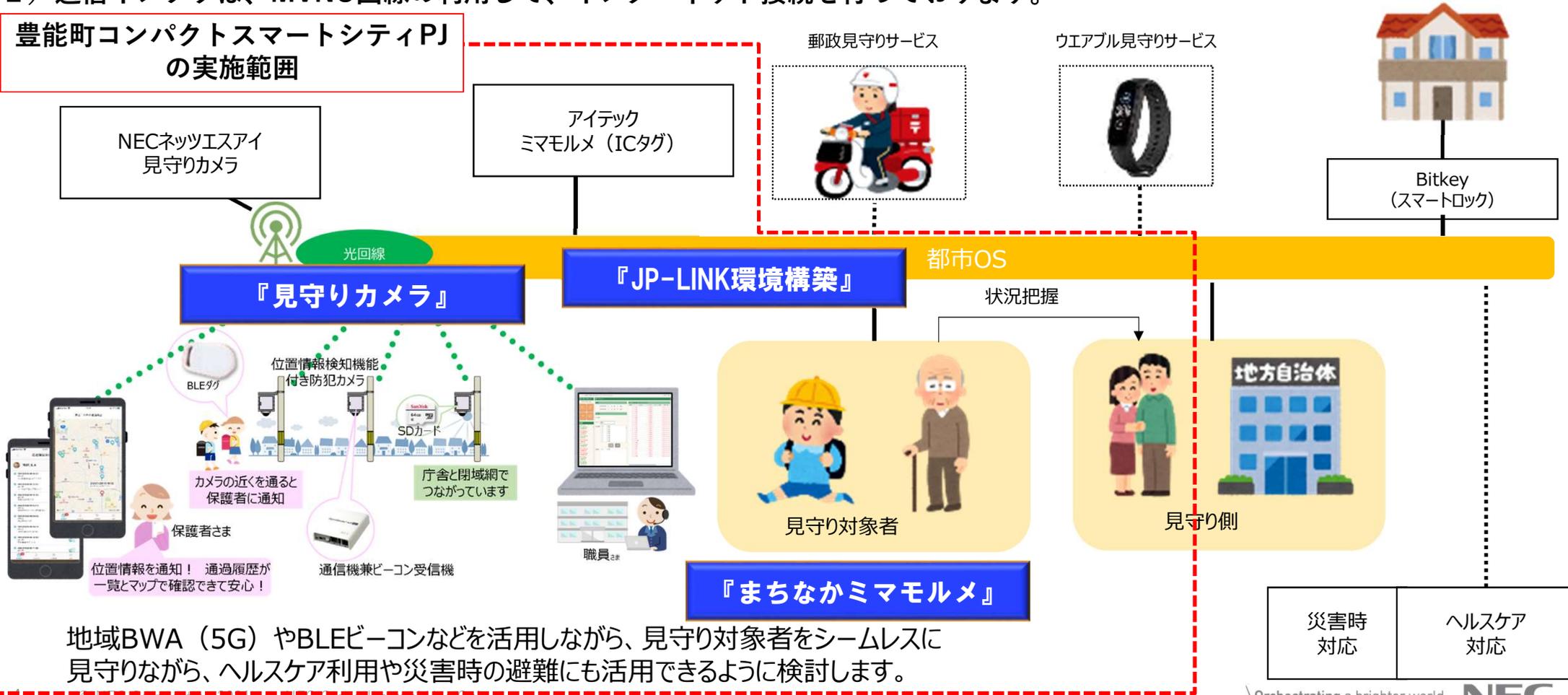
行政サービスの利便性を高め、自治体職員の働き方改革と効率化

行政手続オンラインによる住民の利便性向上

高齢者・子供見守りサービスの提供

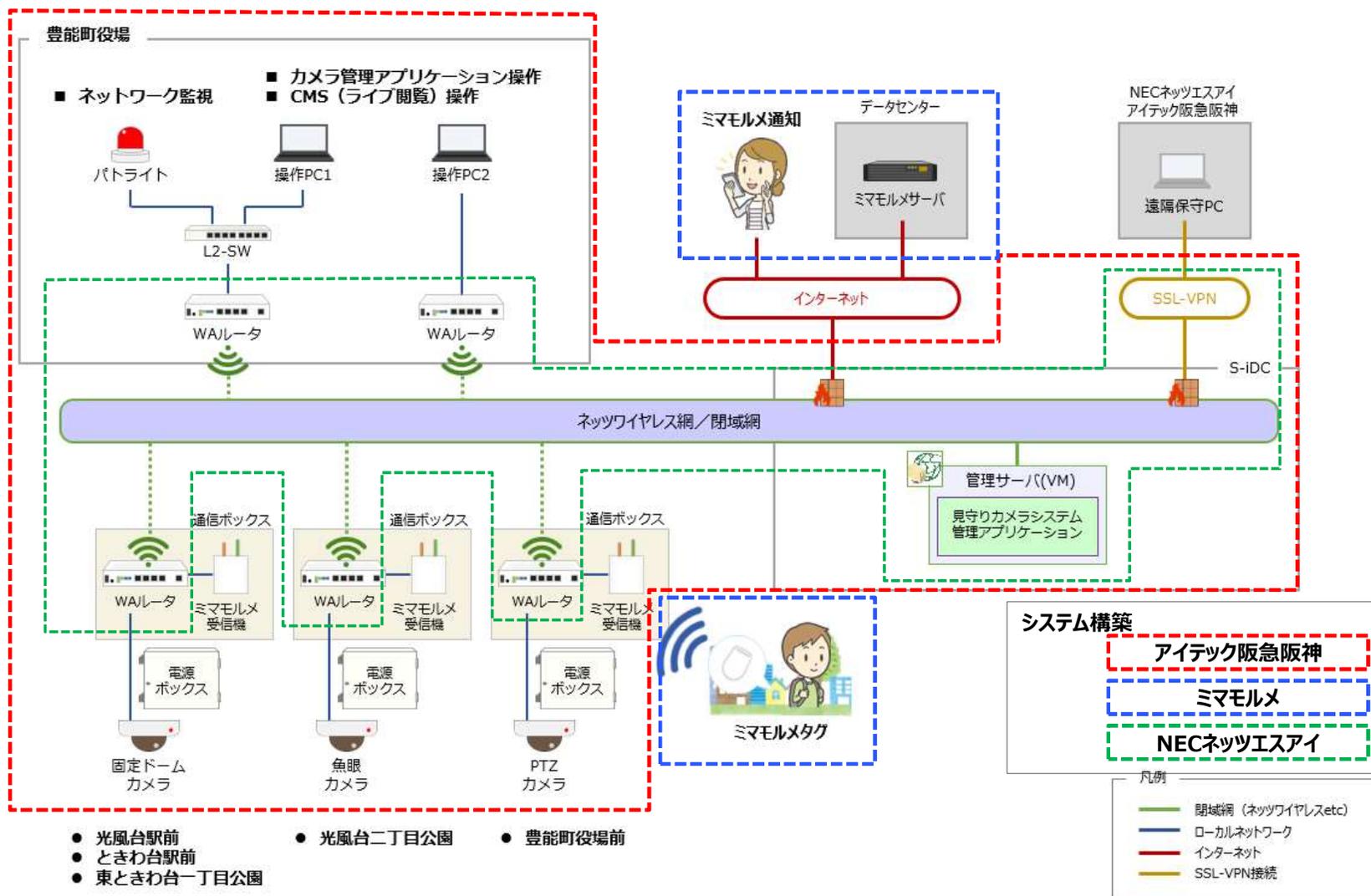
- 1) 豊能町内に設置される見守りカメラ（上限5か所）と、豊能町役場の「見守りカメラ管理端末」間を接続する通信インフラを整備いたしました。
- 2) 通信インフラは、MVNO回線の利用して、インターネット接続を行っております。

豊能町コンパクトスマートシティPJの実施範囲



地域BWA（5G）やBLEビーコンなどを活用しながら、見守り対象者をシームレスに見守りながら、ヘルスケア利用や災害時の避難にも活用できるように検討します。

見守りサービスシステム 全体概要図



高齢者・子供見守りサービスの提供

■利用IoT機器及びサービス連携調査について

- 1) 現行の見守りサービスで使用している【BLEタグ】が、今回の環境で使用できることを確認いたしました。

※図2は、提供された位置情報をダッシュボードで表示

- 2) ヘルスケアで採用を検討している【リストバンド型ウェアラブルデバイス】
モデル：Mi smartband 6
と、見守りサービスのBLE受信機の間で連携について確認の結果、仕様として対応不可と判断いたしました。

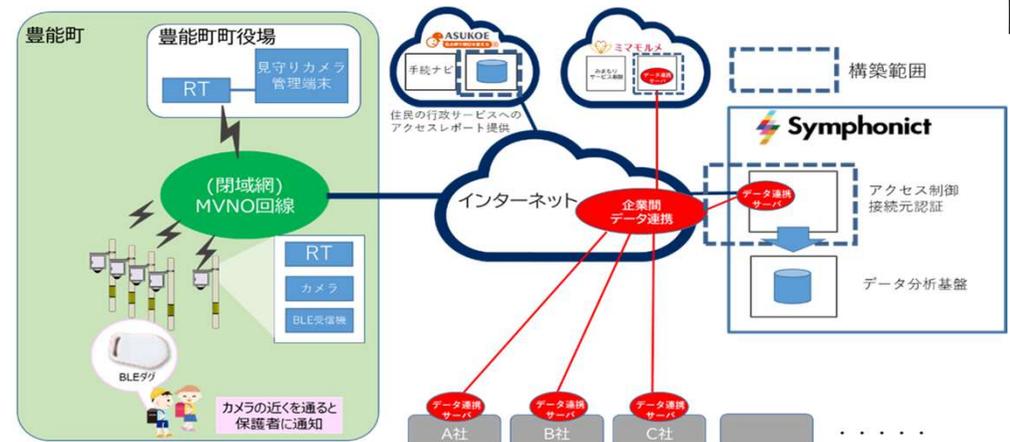


図1：見守りサービス構成概要

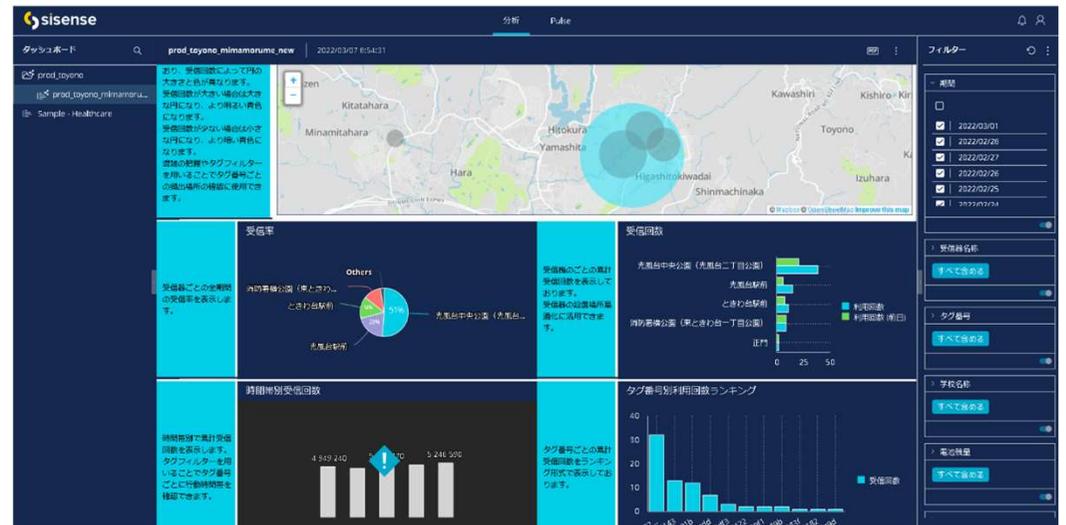


図1

図2

豊能町コンパクトスマートシティ 実施イベント

■一般社団法人とよのていねい 連携企画

概要 **お守りワークショップ** 2022年2月28日 開催

大切な人に「ミマモルメ」を
肌身離さず持ち歩いてもらうための仕掛け作り
【お守りワークショップ】

「ミマモルメ」がすっぽり収まる、オリジナルお守り袋をつくります。形と生地を選び、手作りのお守り袋を制作。針を使わないので、小さなお子さんと一緒に楽しむこともできます。最後には、お名前スタンプ(予定)を押し、簡易的な迷子札としての役割も果たします。

さらに昔から「妙見さん」として親しまれ、豊能町を見守るかようにそびえ立つ妙見山にて「ミマモルメ」をご祈禱いただきます。テクノロジーの力に、太古からの祈念の力を加えた「ミマモルメ」でさらに御加護がありますように。大切なあの人へのお守りとして、思いを込めて作るワークショップです。

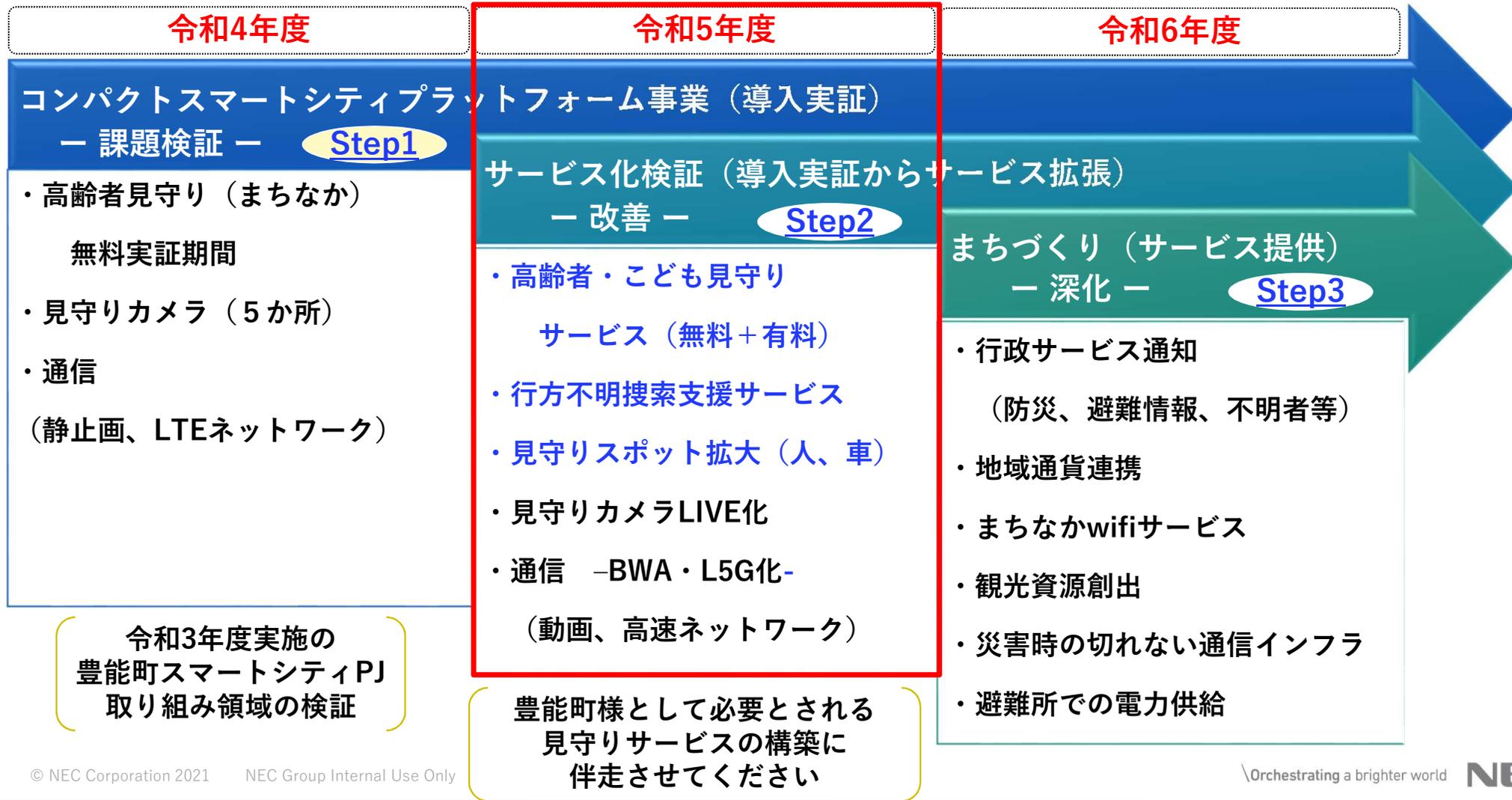
所要時間: 30分～1時間程度
対象年齢: 小学生低学年～大人まで



写真左: ミマモルメ(10円玉くらいのサイズです)
写真中央: お守り袋のイメージ画像
写真右: ご祈禱のイメージです(日蓮宗霊場 能勢妙見山様 公式HPより)



見守りサービス 事業展開ステップ



豊能町様へご提案する3つの取り組み

1

高齢者・こども見守り



住民参加型の見守りサービス

2

防災対策サービス



見守りインフラを災害時に活用

3

地域活動活性化



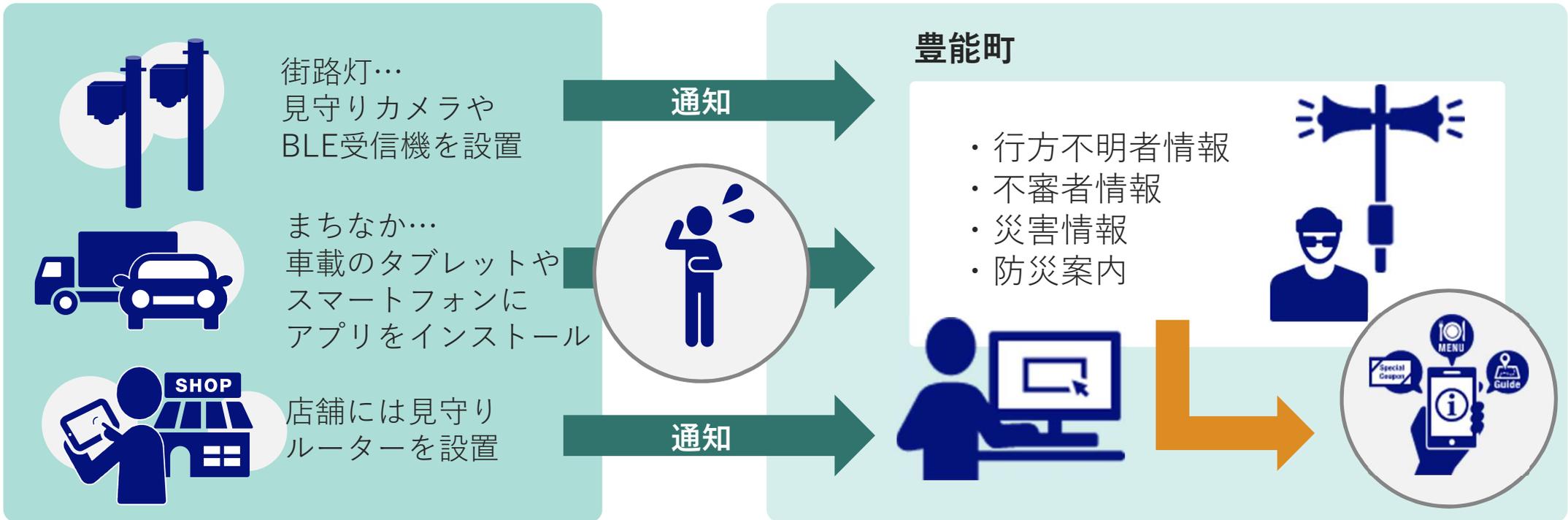
地域通貨との連携による活動の活性化

①高齢者・こども見守り

地域活動としての地域参加型の見守りサービスでまち全体で見守り

まち全体で見守りデータを取得

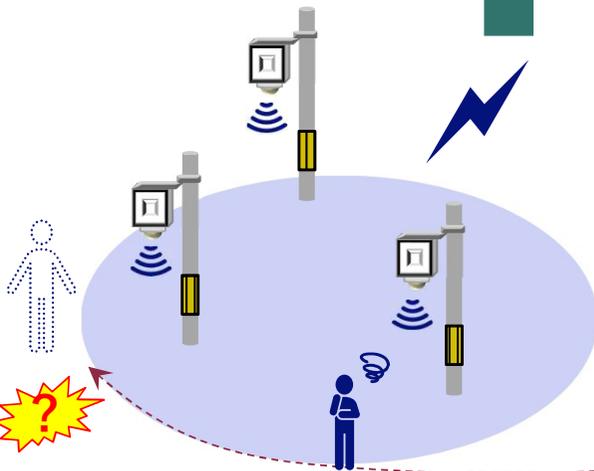
取得データをまちづくりや防犯に活用



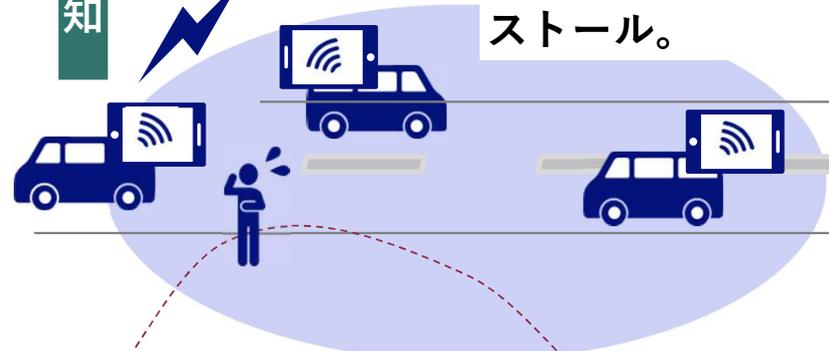
まち全体で見守る ～見守りスポット構築イメージ～

地域活動として 住民参加型の見守りサービス

見守りカメラとBLE受信機を設置



車両搭載のタブレットに見守りアプリをインストール。



スマートフォンに見守りアプリをインストール。

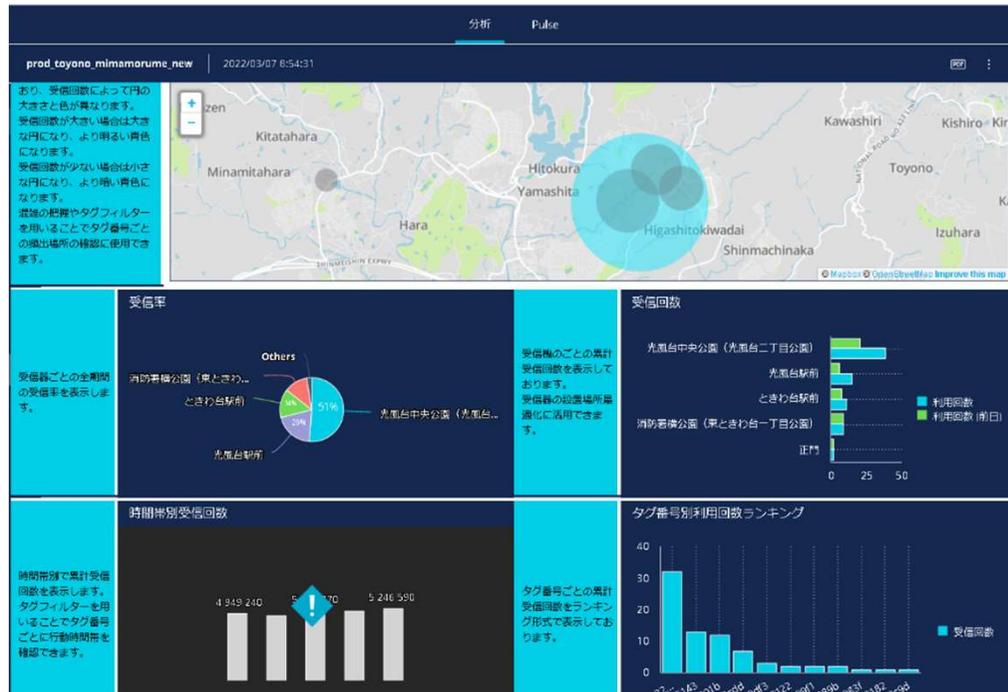
学校やコンビニ、自動販売機などにLTE内蔵の見守りルーターを設置。



②防災通知・避難所ソリューション

まちの見守りインフラから取得したデータ（映像/位置情報）を分析して、緊急時の行政サービスに活用

■見守りで構築したネットワークの活用



見守りカメラ

社会インフラの監視（災害監視）

見守りタグ

避難場所人数の把握

町なかwifi環境の構築

（避難場所での通信）

③地域活動活性化

Symphonic Society

まち全体を地域みんなが守る、豊かに響きあう未来につながる社会の実現

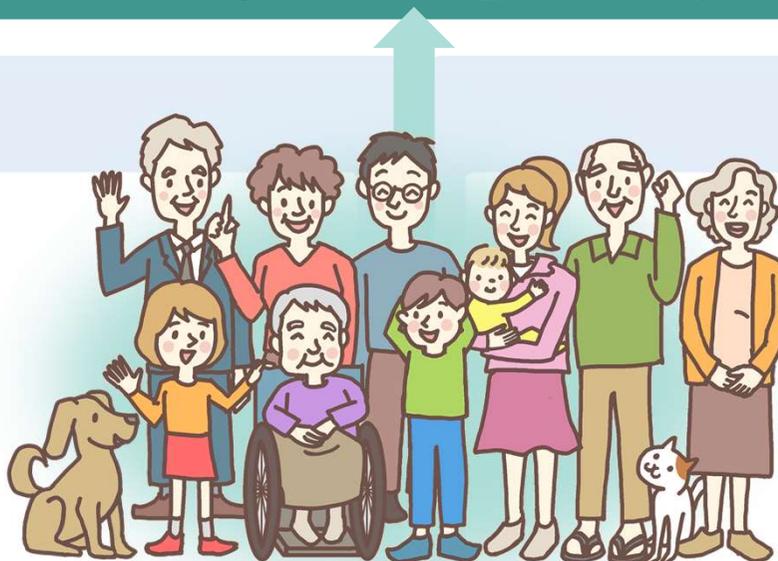
地域住民



見守りアプリ利用に応じてクーポンやポイントを付与しアプリ利用促進



まちの企業・商店への集客



豊能町

・循環型の地域通貨活用による住民活動の活性化の基盤づくり

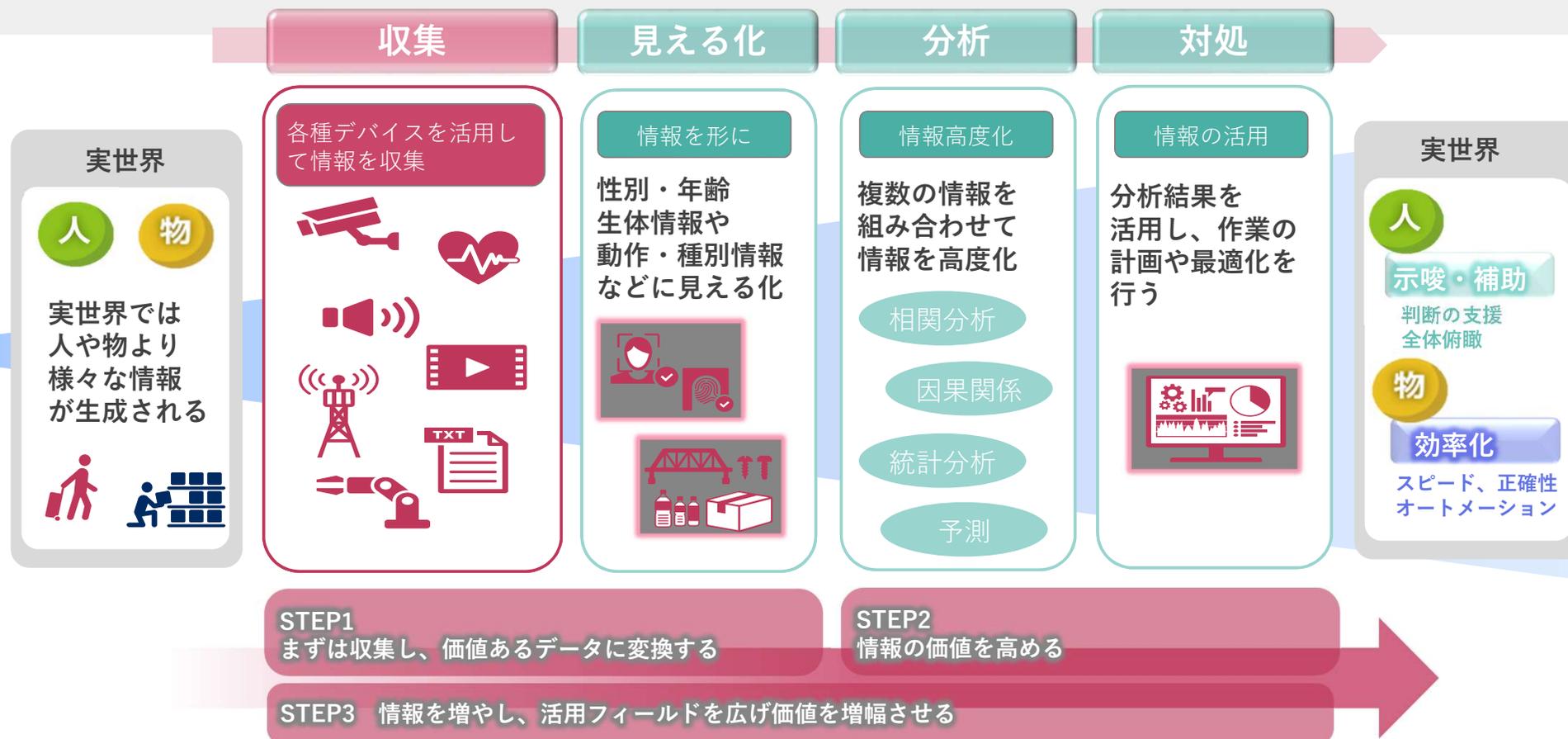
・観光客へのまちの魅力発信
観光資源の発掘



見守りアプリを地域通貨と連携させることで利用促進＋まちの活性化

データ化から価値への変換

実世界にあるデータを見える化し分析することで価値に変換する



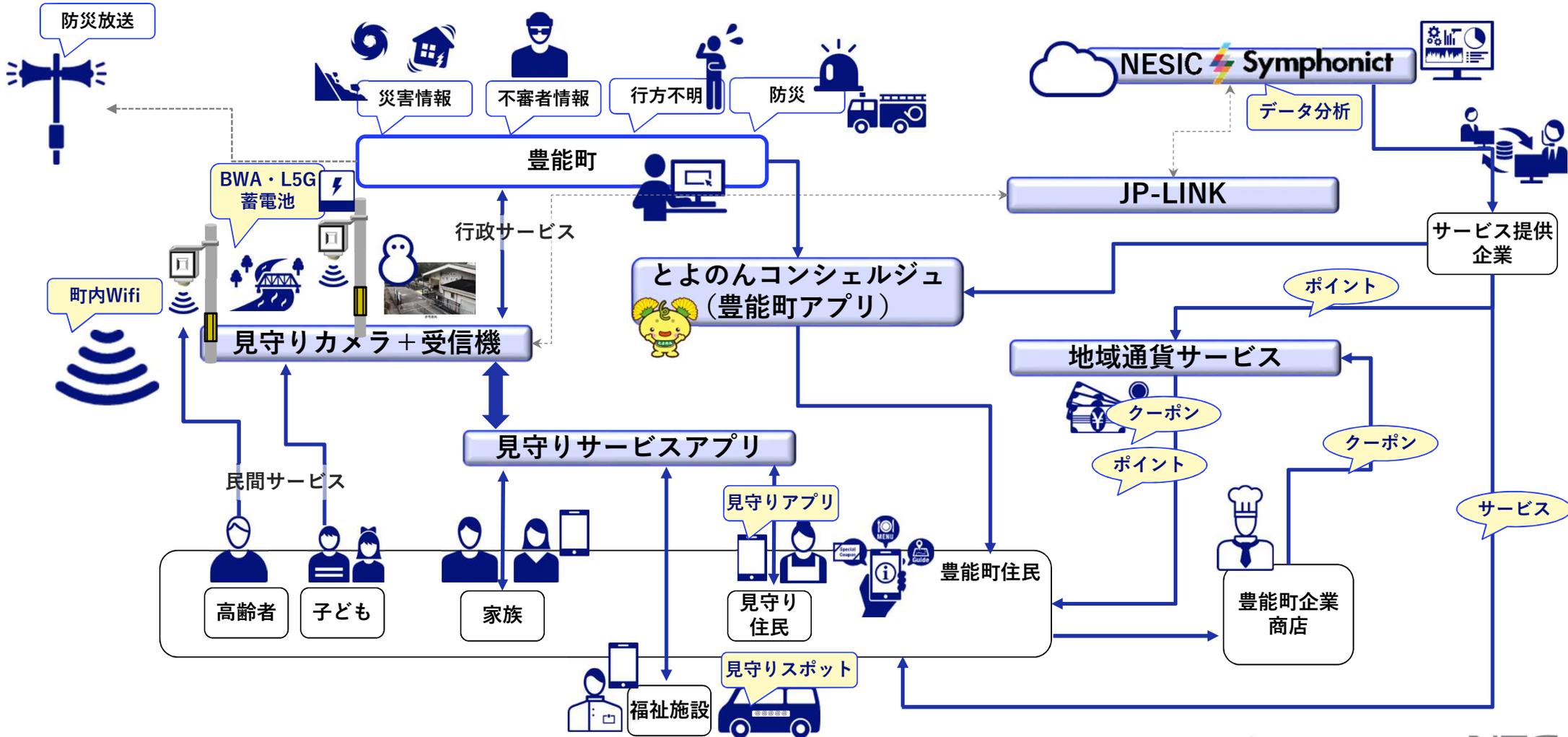
\Orchestrating a brighter world

NEC

Appendix

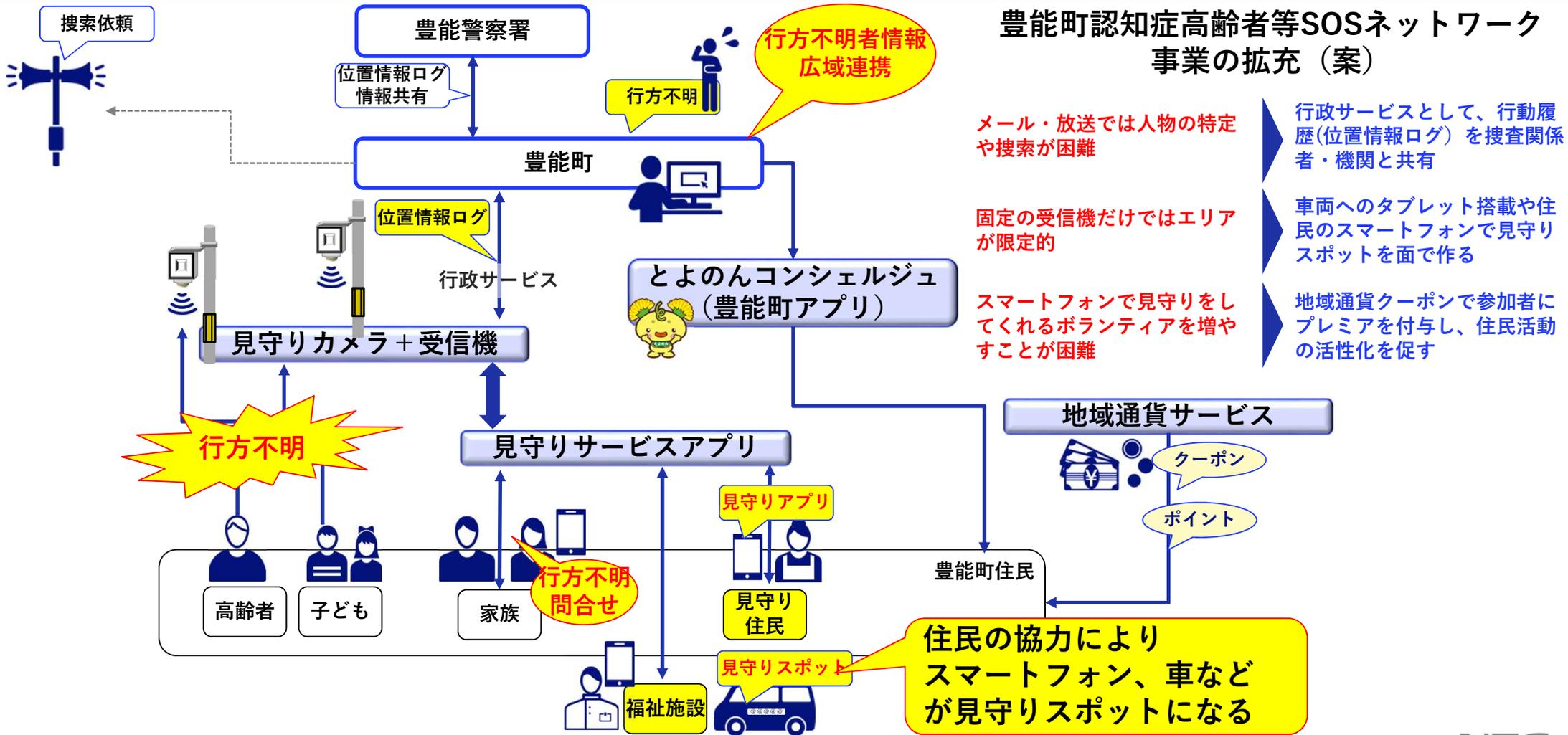
地域見守りサービス事業(案) (全体感)

平常時



地域見守りサービス事業イメージ（高齢者・こども見守り）

緊急時



まち全体で見守る ～見守りスポット構築イメージ～

地域活動として 住民参加型の見守りサービス

見守りカメラとBLE
受信機を設置

通知

車両搭載のタブレット
に見守りアプリをイン
ストール。

通知

通知

通知

学校やコンビニ、自動
販売機などにLTE内蔵の
見守りルーターを設置。

スマートフォンに見守り
アプリをインストール。

防災通知・避難所ソリューションへの活用

まちの見守り事業として、緊急時の避難場所への行政サービス（案）

◇見守りで構築したネットワークの活用

- 見守りカメラでの社会インフラの監視（災害監視等）
- 町なかwifi環境の構築（避難場所での通信）
- 見守りタグを使用した避難場所人数の把握（高齢者、子ども）と災害物資の配送等の連携
- 来町者（観光客）などへの避難誘導

◇避難所関連ソリューションによる、住民サポートの充実

蓄電池ソリューション、災害情報可視化

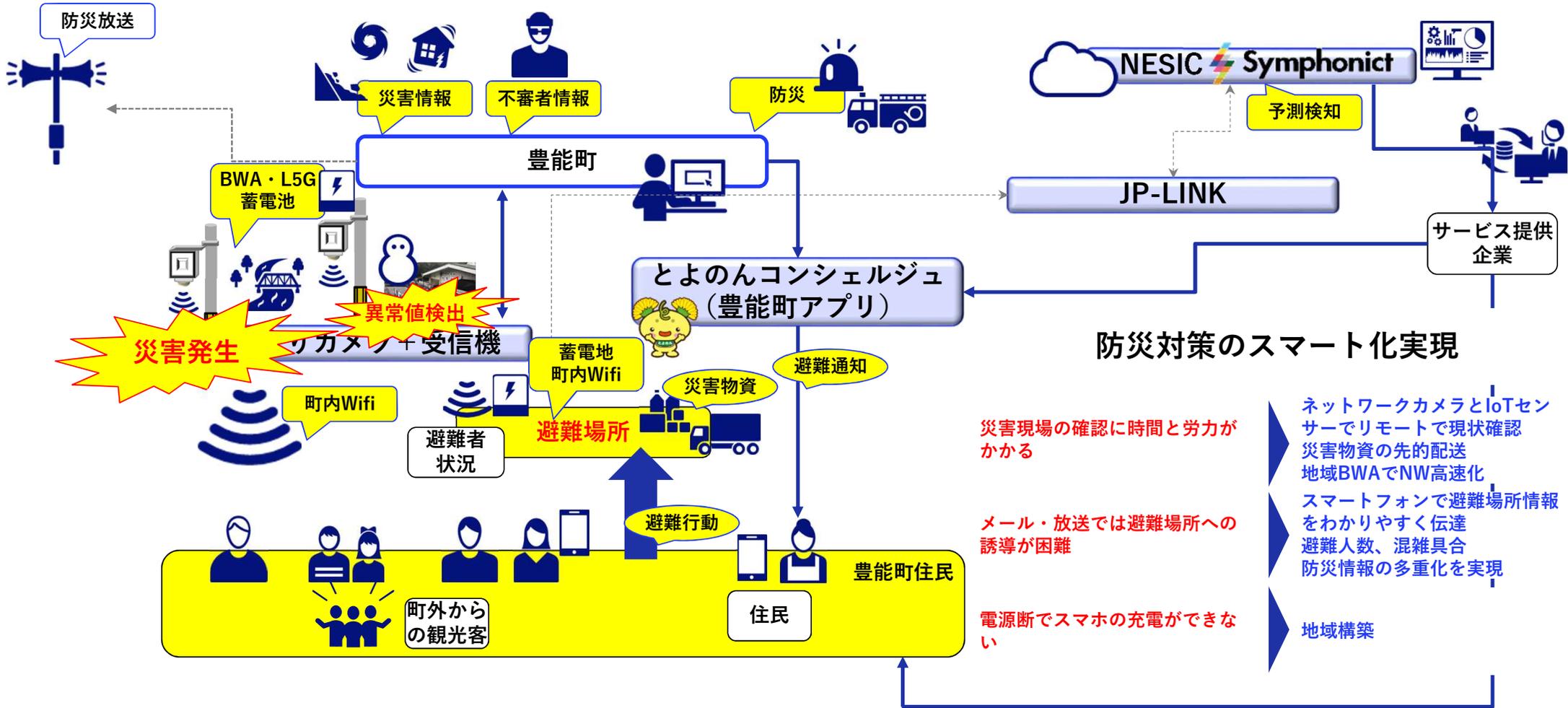


避難所等一覧

指定緊急避難場所	指定避難所	福祉避難所	一時避難地	広域避難地	弾力運用避難所
洪水などの災害が差し迫った時や災害時に、緊急的に避難し身を守る場所です。	災害によって短期間の避難生活を営むことが可能な一定期間の避難生活を行う場所です。	災害時に特別な配慮を必要とする、高齢者・障害者・妊婦等のための2次避難所です。	地震や火災発生時等に、その危険を回避するために一時的に避難し身を守る場所です。	地震などの災害時に大規模な被災が想定され、避難生活が長期にわたることを想定し、身を守る場所です。	小規模な災害が発生した場合など、災害の状況により弾力的に運用する避難所です。
■ 指定緊急避難場所・指定避難所					
施設名	所在地	電話	ページと位置	地震	土砂災害
東能勢中学校体育館	余野159-2	-	7-E3, 8-A3	●	●
高山コミュニティセンター	高山110	☎741-1959	11-C1	●	●
吉川小学校体育館	吉川1419	-	2-A3	●	●
吉川中学校体育館	東ときわ台1-3-2	-	3-E3, 4-A3	●	●
光風台小学校体育館	新光風台1-5-1	-	3-C2	●	●
■ 福祉避難所					
施設名	所在地	電話	ページと位置	地震	土砂災害
老人福祉センター永寿荘	木代1051	☎739-0097	8-A3	●	●
老人福祉センター豊寿荘	光風台5-1-2	☎738-0814	3-E3	●	●
■ 一時避難地					
施設名	所在地	電話	ページと位置	地震	土砂災害
野間口青少年グラウンド	牧下林2-2	-	5-D4	●	●
光風台2丁目公園	光風台2-11-1	-	3-D3	●	●
ふれあい広場	東ときわ台2-1-1	-	3-E2, 4-A2	●	●
■ 広域避難地					
施設名	所在地	電話	ページと位置	地震	土砂災害
スポーツ広場	希望ヶ丘2-38	-	8-C3,4	●	●
■ 弾力運用避難所 (災害状況により弾力的に運用)					
施設名	所在地	電話	ページと位置	地震	土砂災害
中央公民館	余野26	☎739-3429	7-E3, 8-A3	●	●
高山コミュニティセンター	高山110	☎741-1959	11-C1	●	●
西公民館	光風台5-1-2	☎738-4628	3-E3, 4-A3	●	●
スポーツセンターシートス	新光風台3-1-10	☎738-1333	1-B5, 3-B1	●	●

地域見守りサービス事業イメージ（防災通知への活用）

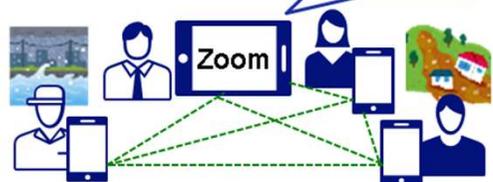
緊急時



避難所支援パッケージ

① タブレット×Zoom

タブレットとZoomライセンスをワンストップでご提供し、離れた場所にいる避難所間の柔軟なコミュニケーションを実現。



情報
収集

③ スマート街路灯

災害時の初期避難の誘導灯や非常用電源、通信網の拠点として利用可能。



情報
収集

④ 体表温&マスク検知『Facelook』

来場者のマスク装着有無と体表温を確認し、結果を文字と音でお知らせ。

避難所での感染症拡大を防止



感染症
対策

② サイネージ

施設の防災センターで火災報知器および地震速報と連携して自動/手動でコンテンツを切り替えサイネージへの表示が可能。



情報
収集

⑤ 太陽光発電&蓄電池システム

停電時の電力確保が可能で太陽光発電システムとの連携が可能。当社独自のBCP対策シミュレーションも利用可能。



電力
確保

⑥ 可搬型バッテリー

平常時は建物内のコンセントから蓄電を行い、災害時には持ち運べる蓄電池として活用。

使用目安

- スマートフォン：50台以上
- LED照明(7w4本)：12H以上
- ノートPC(5台)：3H以上
- 小型冷蔵庫：6H以上
- 小型液晶TV(20インチ)：8H以上



電力
確保

地域見守りサービス事業イメージ（地域活動活性化）

サービス事業

循環型の地域通貨活用による住民活動の
活性化の基盤づくり

まちなかの企業・商店への集客

観光客へのまちなかの魅力発信
観光資源の発掘

